

2015年10月22日

株式会社 電通
代表取締役社長執行役員 石井 直
(東証第1部 証券コード: 4324)

電通が運用するベンチャーファンド「電通ベンチャーズ」、 人工知能を用いた非構造化ビッグデータ分析プラットフォームの「Sensai 社」に出資

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：石井 直）が運用するコーポレート・ベンチャーキャピタル・ファンド「電通ベンチャーズ1号グローバルファンド」（以下「電通ベンチャーズ」）は、人工知能の技術を駆使した非構造化ビッグデータ分析プラットフォームを提供する Sensai Corporation（センサイ・コーポレーション、本社：米国パロアルト市、CEO：Jonas Lamis、以下「Sensai 社」）に出資しました。

電通ベンチャーズは、まだ見ぬ未来をつくり出していく野心的なスタートアップ企業への投資と、投資先との協業を通じた当社グループのオープンイノベーションを実現するために、本年4月に設立したファンドです。資金提供のみならず、当社グループならではの課題解決に向けたソリューションやリソースを提供することで事業や起業家を支援しています。その第4号案件が Sensai 社になりました。

Sensai 社が提供するビッグデータ分析プラットフォームは、非構造化データの分析に強みを持ちます。独自言語の Cuddle（カドル）は、非構造化データの分析を簡易にする強力なツールです。同社はソリューションパッケージの第1弾として、企業および政府機関向けの非構造化ビッグデータ解析ツールである Sensai Research（センサイ・リサーチ）、不正取引管理の分析を容易にする Sensai Anti Fraud（センサイ・アンチフロッド）、また企業の統治・内部統制が健全に機能しているかを分析する Sensai Governance（センサイ・ガバナンス）を既に提供しています。

電通ベンチャーズは、ビッグデータ分析を簡易化し、これまで分析のボトルネックとなってきたデータ分析者のすそ野を広げる Sensai 社の技術は今後ますます重要性が高まっていくものと考えています。とりわけ同社の技術革新は、将来的には IoT やウェアラブルテクノロジーの普及で蓄積される、より広範な消費者データを活用したマーケティングビジネスに展開できるものと期待しています。

今後、当社グループは、Sensai 社のプラットフォームの普及と新しいビジネスの開発を支援してまいります。

Sensai 社ならびに電通ベンチャーズの概要は以下のとおりです。

<Sensai 社の概要>

社名	Sensai Corporation
本社所在地	米国カリフォルニア州パロアルト市
代表者	Jonas Lamis (CEO)
従業員数	7名
事業内容	非構造化ビッグデータ分析プラットフォーム提供
URL	http://sens.ai/

<電通ベンチャーズの概要>

名称	電通ベンチャーズ 1号グローバルファンド (Dentsu Ventures Global Fund I)
ファンド総額	50億円
ファンド組成時期	2015年4月
運用期間	2022年3月までの7年間で予定
投資地域	欧米・アジアなどの海外を中心に、グローバルに投資
投資ステージ	シード／アーリーステージを中心としつつ、ミッド／レイトーステージも含む幅広いバランス投資
投資領域	(1) 広義のマーケティング／コミュニケーションビジネスを変革しうる領域 (2) 上記に当てはまらなくともイノベティブでポテンシャルの高い新領域
URL	http://dentsu-v.com/

以上

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報部
河南（かなん）、長澤 TEL：03-6216-8041

【投資に関する問い合わせ先】

株式会社電通 「電通ベンチャーズ」 Email：info@dentsu-v.com